

公共施設再配置シンポジウム

なぜ今、公共施設の再配置を考えるのか？

～隠れた負債を子どもたちに
残さないために～



道の駅平成



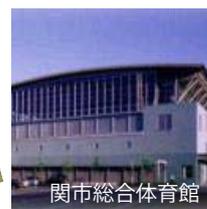
安桜小学校



関市文化会館



関市役所本庁舎



関市総合体育館



むげがわ保育園
・児童館
・子育て支援センター



武芸生涯学習センター



学習情報館



中池公園

◆日時 平成26年8月19日(火)午後7時～9時
(午後6時30分 開場)

◆場所 武芸川生涯学習センター ホール
(関市武芸川町小知野)

◆定員 300名(先着順・参加無料)

◆内容

1. 開催の挨拶
2. 関市の公共施設の現状と課題
3. 基調講演 (講師 東洋大学 教授 根本祐二氏)
「インフラ老朽化問題は解決可能か
～孫にツケを残さない進め方とは～」
4. パネルディスカッション



～隠れた負債を子どもたちに残さないために～

今後、公共施設やインフラ施設(道路や橋など)の老朽化の問題は全国的により深刻になっていきます。少子高齢化、人口減少社会を迎え、福祉のための予算が拡大する中で、施設の改修や整備に使える予算は限られてきます。子どもたちに負の資産を残さないためには、市民と行政が一体となって、今から公共施設のあり方を考えることが必要です。

本シンポジウムでは、関市の公共施設の現状と課題を把握するとともに、基調講演や有識者のパネルディスカッションを通じて、公共施設再配置に向けた取り組みや具体的な方策について理解を深めていただくことを目的として開催します。

◆基調講演

講師 根本 祐二氏 (ねもと ゆうじ)

東洋大学経済学部教授。1954年鹿児島県生まれ。東京大学経済学部を卒業後、日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。2006年東洋大学に公民連携専攻(修士課程)を立ち上げる際に転籍。現在、大学院経済学研究科公民連携専攻長、PPP研究センター長を兼務。内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省社会資本整備審議会社会資本メンテナンス戦略小委員会委員を兼務。

著書に「朽ちるインフラ」、「豊かな地域はどこが違うのか」、「公民連携白書」(共著)ほか。

◆パネルディスカッション

モデレーター 根本 祐二氏

パネリスト

飯尾 良英氏 (いいお よしひで)

中部学院大学人間福祉部教授。同大学地域連携推進センター所長。1949年岐阜県生まれ。日本福祉大学社会福祉学部、岐阜大学教育学部修士課程修了後、岐阜県社会福祉協議会で岐阜県内の地域福祉の推進に取り組む。1994年から中部学院大学短期大学部・中部学院大学の教授に就任。岐阜県及び県内市町村の福祉計画、政策立案に参画。岐阜県高齢者安心計画策定委員長、岐阜県地域福祉協議会人材対策部会部会長、岐阜県福祉人材総合対策センター委員長ほかを務める。



円満 隆平氏 (えんまん りゅうへい)

金沢工業大学環境・建築学部教授。1952年東京都生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒。工学博士。1984年清水建設株式会社地域開発部、ライフサイクルエンジニアリング部を経て、2004年から現職。専門は、サステイナブル建築、サステイナブルコミュニティ、建物維持管理、ファシリティマネジメント、プロパティ・マネジメント、CRE/PRE戦略。

共著に「公共ファシリティマネジメント戦略」、「公共施設マネジメントハンドブック」ほか。



関市長 尾関 健治 (おぜき けんじ)

【会場周辺の駐車場について】

自家用車でお越しの際は、武芸川生涯学習センター駐車場、武芸川事務所駐車場、武芸川ふるさと館駐車場をご利用ください。駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合わせてお越しくださいますよう、お願いいたします。

